

平成30年度 第2回 行財政改革審議会 会議概要

開催日時 平成30年8月2日（木） 13:00～14:40
場所 四街道市役所 保育課2階会議室
出席委員 鈴木委員、中村委員、上田委員、田中委員、安室委員
丸岡委員、小川委員、安井委員、笹原委員
欠席委員 小澤委員
事務局 総務部：植草部長
行革推進課：森山課長、古川主査補、高羽主事、影山主事
傍聴人 2名

会議次第

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 部長あいさつ
4. 議 題
 - (1) 第8次四街道市行財政改革推進計画（案）について
 - (2) 第7次四街道市行財政改革推進計画進捗状況等（29年度）について
5. その他
6. 閉 会

議事

議題（1）第8次四街道市行財政改革推進計画（案）について

事 務 局 （資料説明）

鈴木会長 何か質問、意見等はあるか。

小川委員 マイナンバー制度が始まった。この制度を利用して市税の収納率を向上させるようなことは検討しているか。

事 務 局 マイナンバー制度を利用した市税等の収納率の向上については、現在検討はしていない。窓口サービス課において、コンビニで住民票や戸籍謄本、印鑑証明などを交付できるように検討している。今後、行財政改革推進計画にもその旨を掲載する予定である。

鈴木会長 マイナンバー制度では、収納率の向上に関してどのようなことが可能なのか。

小川委員 具体的な内容についてはわからないが、会議の前に他市町村の行財政改革推進計画を見ていたところ、マイナンバー制度を活用した収納システムを導入している市町村があった。検討する価値があるのかと思い質問をした。

安井委員 四街道市において、マイナンバーを利用している人数はごくわずかである。実際に交付率はどれくらいなのか。

事 務 局 1割強である。今後コンビニで住民票等の交付をする予定でいるが、利用にあたっては、マイナンバーカードが必要であるため、普及率が向上するよう、努力してい

きたい。

安井委員 審議会から提言を示したが、一番は子ども医療費の自己負担基準の見直しだと思う。実施に向け、どれくらいに実施可能か。経常収支比率がひっ迫している状態であることから、なるべく早く実施して欲しい。

事務局 現在、自己負担をどの程度にするのかなど、担当課と検討している。方向性が決まり次第議会に説明し、条例改正（案）の議案を提出することとなる。現在は検討中のため、明確には申し上げられない。

田中委員 「自己負担基準を上げる」という方向性は決まっているのか。

事務局 今まで、子ども医療費は全額無料であったが、自己負担基準を見直すということで担当課と検討している。

田中委員 金額だけでなく、自己負担を求めるかどうかは議決事項である。まるで自己負担を求めることが決定のような表現であるがどうなのか。

鈴木会長 自己負担基準の見直しについては、市長に判断をしてもらい、議会で議論してもらうこととなる。ただ、経常収支比率の状況から見れば、一部を負担をしてもらうという意見は必要である。検討課題であるという趣旨で提言をした。

笹原委員 公共施設の使用料の見直しなどで、市の財政を健全化していこうという考え方は理解できる。一方で新庁舎を建設する予定であるが、第2庁舎は今後どのような利活用をするのか。また、文化センターのレストランは長らく休業している。このような市の財産について十分に活用されているのか。ごみの有料化については具体的な数字が出ているが、建物の利活用についての数字は出ているのか。

事務局 施設に関しては、施設の再配置計画において見直しており、そこで示す予定である。文化センターについては、8月1日から指定管理者の公募を開始したところであるが、今後レストランは、指定管理者に管理してもらうこととし、利活用を検討してもらう予定である。

安井委員 公民館、鹿放ヶ丘ふれあいセンター、総合福祉センターのそれぞれの有料化は始まったのか。

事務局 6月議会に提案し、議決頂いた。来年4月1日から使用料手数料の徴収を開始するというで準備している。

安井委員 (6)市有財産の売却、利活用は、影響が大きいと思うが、大きい財産などはあるのか。

事務局 現在、担当課と今後5年間のうちに、市が保有している土地や建物の売却、利活用について協議している。10月には方向性を示す予定である。

鈴木会長 利活用を担当する部署はあるのか。

事務局 庁舎や文化センターであれば管財課というように、それぞれ土地や建物を所管する部局において検討している。

鈴木会長 財政状況が厳しいのだから、市の財産の有効活用について、恒常的な組織が必要かどうかは別にして、短期的に集まって利活用を検討してもよいと思う。

事務局 検討していきたい。

笹原委員 街灯の維持費は年間でどれくらいかかっているのか。

事務局 防犯灯や街路灯の決算は平成28年度において2,400万円弱の支出が光熱水費としてある。

鈴木会長 削減する方法としては、自家発電などになるのか。

上田委員 太陽光発電などの検討も必要だろう。

事務局 市内に道路照明灯や防犯灯など様々あるが、防犯灯に関しては、8,100灯をまとめてLEDに取り換えており、概ねLEDとなっている。あと数灯残っているが、民間業者から移管を受けたもので設置したばかりであり、交換しなくてよいと判断されたものである。ガス灯もLED灯に変更しているが、電気の使用量は以前に比べれば大幅に減っている。

笹原委員 固定的な費用を解消する努力が必要である。水道管を利用した発電がいろいろな所で導入されている。このように投資をした結果負担が減るという方向で検討はできないか。税収を上げるということなど、市民に負担を強いるだけでは、少子高齢化社会に対応することは難しいのではないか。

鈴木会長 笹原委員の視点のように、投資や民間との協力などから、電気代を削減するシステムをつくるというような視点を持った部署はあるのか。県レベルでは可能かもしれないが一つの市では難しいのではないか。

安井委員 本審議会では提案してガス灯をLED灯としたなど投資によるコスト削減はしているが、投資は長期的な展望が必要となる。

鈴木会長 だからといって考えなくてよいということではない。そういう課題について検討する部署があってもよいと思う。場合によっては情報を集めて、他市を巻き込んで対応するなど、コストカットばかりでなく前向きな対応もあってよいと思う。

事務局 計画の中にも組織機構の見直しという項目もあることから、笹原委員の指摘も含めて担当課と検討していく。

鈴木会長 焼却施設のようなものは標準化されたものの方が安い。それが規模的に大きくなったら他市に貸して、使用料を徴収するなどをすれば、歳入は増える。そのように今までの市職員の見方を変えて、いろいろな知見から見るとというのがこれからの市政に必要である。最終的にサービスの増強となればよい。今までのようなルーティンではなく、自由な発想が必要である。行革推進課が提案しているとは思いますが、柔軟な発想をもとに取り組んでほしい。入ってくるお金がないとコストカットしかなくなり、短期的には評価されるが、組織は衰退していく。

上田委員 鈴木会長の意見に賛同する。サービスを低下させずにコストカットするというのは、誰も文句を言わないが、子ども医療費のようにコストカットのためにサービスを低下させるというのは市民の合意を得るのは難しい。また、費用を抑えつつ、サービスを充実させていくという発想もある。例えば予算の関係で建設投資は難しいと思うが、今後保育園や高齢者施設が必要となってくると思われるなかで、社会問題となっている空家を有効活用することはよいのではないか。市が関与することで信用度も増すと考えられる。

笹原委員 四街道市の管理をしている道路の長さはどれくらいなのか。

事務局 市道は400km程である。

- 笹原委員 職員の適正化において、必要職員数を的確に予測するとあるが、道路を例にすると、管理する道路がどれくらいあるのか、現在職員は何人で管理をしているのか、そこから適正な数かどうか分かる。適正な職員配置とは、仕事量を数値化し、そこに職員を配置し、再任用制度を活用するということが大事である。
- 鈴木会長 総仕事量に対して、何人なら足りるかということである。総仕事量はどのように量るのか。
- 事務局 仕事量を数値化するのは難しいが、人事課がそれぞれの所属長とヒアリングを行い、仕事内容を確認しながら、定員を定めており、適正な人事配置が行われている。
- 鈴木会長 何を基準にして、適正と判断しているのか。管理する側としては人員を削減しても大丈夫と判断するし、現場は仕事が多いと言うであろう。利害対立があるから難しいと思う。
- 事務局 総務部長と担当部長が話し合いを行い、調整を行っている。数値等で示すのは難しい。
- 鈴木会長 数値で計る尺度があるか考える価値はある。
- 笹原委員 職員の育成と意識改革において、職員のモチベーションアップを図るとある。具体的にどのような方法を用いてどの程度、モチベーションを上げるのか。
- 鈴木会長 単純に考えれば、仕事を評価して給料を上げるということである。それ以外に施策はあるのか。職員の階級などは完全に年功序列なのか。仕事に応じて抜擢されるということはあるのか。
- 事務局 今は年功序列ではなく、適材適所へ職員配置をしている。
- 鈴木会長 競争原理も働いているということか。
- 事務局 その通りである。計画に記載の通り、人事評価に基づき人事配置を行っており、評価に従ってモチベーションが上がると考えている。
- 鈴木会長 不満は出ていないのか。
- 事務局 上がる人もいれば下がる人もいるので、不満を言う人も若干いるとは聞いているが、モチベーションアップにつながると考えて人事評価を行っている。
- 安室委員 モチベーションアップに関して、銀行だと年に1回、従業員満足度調査を実施している。サービスを向上させるためには従業員が満足しないといけないという考えに基づいている。数値目標のようなものを市役所で設定して行うのがよいのではないか。
- 鈴木会長 全員が管理職になれるわけではないから、良い考えだと思う。
- 鈴木会長 他に意見はあるか。
- 各委員 (意見等なし)
- 鈴木会長 ないようなので、第8次四街道市行財政改革推進計画(案)について、資料のとおり承認してよいか。
- 各委員 (異議なし)

議題（２）四街道市行財政改革推進計画進捗状況等（２９年度）について

事務局（資料説明）

鈴木会長 何か質問、意見等はあるか。

安室委員 時間外手当が増えているということは、財政負担が増えているということか。

事務局 その通りである。

鈴木会長 金額的に見ると平成２５年度と比べても増えている。

安室委員 人が減っているというのが原因なのか。

事務局 ノー残業デーなどの取り組みはしているが、新たな仕事などもあり、抑制はしているが時間外手当額が増えているのが実態である。基準年度は平成２５年度であり、この５年間は新規採用職員が全体の２３パーセントを占めており、そのことも影響していると分析している。事務量の増加もあるが、次期ごみ処理施設や庁舎整備など新規事業に伴う時間外勤務が増加していることも手当額が増えている要因の１つである。

安室委員 職員数に臨時職員は含まれているのか。

事務局 含まれていない。

安室委員 臨時職員の人数は増えているのか。

事務局 臨時職員はいろいろな形態で働いており、整理をしないと雇っている人数というのは出せないが、賃金として支払っているのが２億３千万円程度となっている。

笹原委員 一般廃棄物の減量化の推進において、廃食油の売却額が 237,060 円と記載してあるが、これにかかったコストはいくらなのか。廃食油は貴重な燃料源であり、投資することで付加価値をつけることができると思うが、どのようにこの金額を算出したのか。

鈴木会長 投資することでの付加価値とは例えばどのようなことか。

笹原委員 市で精製して車の燃料にすることは大して費用がかかることではない。バスの燃料にすることで、利用料金を下げることでもできるかもしれない。他市町村で取り組んでいるところもある。

鈴木会長 要するにリサイクルの方式を変えるということか。

笹原委員 その通りである。

事務局 1kg あたり 27 円で、8,780kg を売却して算出した金額となる。コストは通常の集積場での回収業務であるため、特別コストはかかっていない。

鈴木会長 業者に売却をする前に精製すれば収益が上がるというのが笹原委員の指摘である。商売意識のような観点もあってよいのではないか。

上田委員 分別しているゴミが場合によっては利益を産む。

鈴木会長 リサイクルのシステムを見直して、収益性を高めるやり方があるかどうか。他の市で取り組んでいるということだから、参考にするのもよいのではないか。

事務局 今後検討したい。

田中委員 進捗状況等は大きく３つに分けられる。経費削減、増収、未収分の回収に分けられる。そのなかの市民税の滞納者に対する回収には、どれくらいコストがかかっているのか。

事務局 資料を持ってきていないので人件費についてお答えはできないが、市税収納向上対策本部で動員した人数は平成29年度は6日間でのべ108人を動員し、29班で滞納整理等を行った。

鈴木会長 誰かを雇って、専門のチームを作っているわけではないのか。

事務局 そのようなことはない。

田中委員 税の滞納に関しては、どこかで手を打つしかない。

鈴木会長 どのような手法で回収するかは市長の判断になる。他市はどのようにしているのか。

事務局 市町村によって大きな差はない。大きい市には収税部門に大人数が配置されたりはしているが、手法は変わらない。給与の振込口座は上限が決まっており、生活給を残さなくてはならないので、数万円の差押を日々繰り返している。また、調査に入り、換価できる財産が見つかったら、競売にかけて税額に充てている。細かい作業を繰り返して事務にあたっているのが現状である。

田中委員 外部に委託してはどうか。

事務局 民間に委託することについては、税金の収納ではなく、コールセンターから滞納がある旨を電話する業務を請け負っている会社はあるが、詐欺が多いなかで電話に出ないことや、信用してもらえないことなどの問題も考えられる。また、県と市町村で協力して、高額滞納者の対応にあたるという試みをしているところもある。

鈴木会長 いろいろなやり方があると思うが、市役所の職員が危険な目に合うというのはどうかと思う。

事務局 確かに収税を担当していると、窓口や電話で罵倒されることもあるが、職員によっては経験したいという職員もいる。辛い立場ではあるが、市職員としてやらなくてはいけない仕事である。

鈴木会長 他に意見はあるか。

各委員 (意見等なし)

鈴木会長 ないようなので、第7次四街道市行財政改革推進計画進捗状況等(29年度)について、資料のとおり承認してよいか。

各委員 (異議なし)

その他

事務局 次回の会議は10月4日木曜日の14時30分からを予定している。次回は本日説明させていただいた第8次行財政改革推進計画について審議いただき、その後に答申いただきたい。よろしく願います。

以上